

Title	橋本増吉博士の訃
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1956
Jtitle	史学 Vol.29, No.2 (1956. 8) ,p.115(227)- 115(227)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19560800-0115

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

彙報

橋本増吉博士の訃

本塾大學名譽教授増本増吉先生には腦軟化症のためかねてより慶應病院に入院加療中のところ去る五月十九日午後四時十五分遂に逝去致されました。享年七十六歳であられました。

こゝに謹んで哀悼の意を表し併せて御冥福を祈り奉ります。

昭和三十一年度春季見學旅行記

五月十三日、本年度史學科春季見學旅行として伊木・淺子並に河北三先生の指導の下に、八時十三分淺草發の東武線にて足利方面に向う。一行四十三名。目的地は足利學校並に饒阿寺である。折悪しく天候は曇。

足利驛にて箕輪・鈴木兩先輩の出迎えを受け、その案内に従い先ず足利學校へと向う。

足利學校の設立は古く一説には小野篁によるともいわれているが、その眞偽は不明である。先に建築物より見學する。正面入口の「杏壇」の文字も嚴めしい孔子廟は寛文八年（一六六八）の建立で唯一の現存物である。淺子先生の御説明によると屋根は棧瓦

葺で、見た感じも堅牢なガツシリとした葺方である。

廟内に入り案内人の説明を聞きながら見學する。中央正面に安置されている孔子像は四百廿年前（天文年間）の作といわれ、孔子像としては珍しい座像である。又この像は孔子ではないとの説もあり、胎内銘はその何らかの解決となると思われるが、現在は既に判讀出来なくなつてしまつてゐる。その右に本校の設立者といわれる小野篁の像があるが徳川中期の作といわれ、あまり良い出来ではない。この像があまり重要視されていない所等から考えても、小野篁説は足利學校創設年代を古くする爲の單なる浮説にすぎないのかもしれない。

更に廟内右手の壁に足利學校の建物配置圖があり、これを見ると盛時の面影がしのばれる。祭祀も湯島の聖堂と同じく昔は春秋二回行われたとの事であるが、現在は秋一回しか行われず、祭具もあまり良いものではなかつた。足利學校は昔時はその政策上幕府の保護があり、御墨付を有し、ここに學ぶ學生も亦經濟的にも援助されていたのであるが、現在の姿はその名残りを全く止めていないと言えよう。

次で待望の圖書の見學に移る。種々ある國寶・重要文化財の貴重な藏書中より、伊木先生の御指定で國寶の「禮記正義」「文選」、重文の「周易傳」「周易注疏」「春秋左傳註疏」「古文孝經」それに「足利學校書籍目錄」を見る。いずれも貴重な圖書であり、各巻・各冊の巻首書眉や輿書に「足利學校」の朱印、「足利學校公用」等の墨書、又「上杉安房守 藤原憲實寄進花押」等の墨書が